

個別事業費	637 千円
交付金額	319 千円

地域の実情と課題

本県においては、デジタルスキル習得による就労を支援する取組として、求職者を対象に、基礎的なITリテラシーの獲得から初歩的なITスキルの資格取得までを支援する職業訓練を無料で実施しており、女性も多く参加している。

一方、「女性はIT分野が苦手」、「デジタル分野は難しそう」といった思い込み等により、そもそも女性は男性に比べ、デジタルスキルの習得やデジタル分野の就労に対して、無意識のうちに及び腰となっている可能性があるため、本県においてもIT技術者に占める女性の割合は非常に少ない状況がある。

目的・目標

デジタルスキル習得によるメリットや事例の発信等を通して、女性のデジタル就労に対する意識醸成を図るとともに、他機関が実施するスキル習得のための職業訓練等につなげ、女性のデジタル分野における就労を促進する。

- ・デジタルスキル習得等に向けて意欲・意識が向上した受講者の割合
目標値:50% 報告時:100%

意欲や意識の向上は高い結果となり目標は達成できたが、受講後に行動へつながっているかについても注視したい。

事業の特徴

- ・セミナーについては、女性活躍推進会議等において協議、意見交換を行い、事業内容に反映させる。
- ・セミナー等の実施結果、参加者の意見、今後の課題等について女性活躍推進会議において情報を共有し、次年度以降の取組に反映する。
- ・他部局が実施するデジタル人材育成の取組と連携を図ることで、同セミナーの受講者が、次の具体的な行動としてデジタルスキルの習得に足を踏み出せるよう支援する

連携団体

鹿児島県商工会議所連合会、鹿児島県商工会連合会、鹿児島経済同友会、鹿児島県経営者協会、鹿児島県中小企業団体中央会、鹿児島県農業協同組合中央会、鹿児島県漁業協同組合連合会、鹿児島県森林組合連合会、鹿児島大学、鹿児島労働局、鹿児島県市長会、鹿児島県町村会

事業の効果

「何から始めたら良いか分からなかった」「初めて生成AIに触れた」という受講者も多く、体験学習等を取り入れることで、デジタル分野に対する苦手意識を払拭し、また個別のニーズにあわせたデジタルの使い方について考える機会を提供することができた。また、最終回の時点で次の一步としてすでに行動を起こしている受講者もあり、一定の成果を得ることができた。

今後の課題

受講者の年齢層が高くなったが、SNSでの広報を行わなかったことが若年層への周知に影響した可能性も考えられ、事業周知の工夫が求められる。デジタル入門として実施していることから、その後のスキル習得にスムーズにつなげられるよう実施時期を早めるなど、他施策等とのより緊密な連携も必要。

女性のデジタル入門セミナー

(1) 目的

デジタルスキルの習得・デジタル分野での就労のメリットや、就労に必要なスキル、デジタル分野で働く女性の生の声を伝えるセミナーを開催し、女性のデジタル就労に対する意識醸成を図る。

(2) 対象

デジタル分野やキャリアに興味がある女性、デジタルスキルの習得により、キャリア継続や再就職を希望する、または興味がある女性

(3) 内容

- ① 「デジタルで広がる自分の未来の可能性を考える」(R7.9.27)
 - ・ 講師: 森田 佐知子氏 (宇都宮大学データサイエンス経営学部准教授)
 - ・ 参加者: 26人(うちweb7人)
- ② 「デジタルリテラシーを学びAIと未来への一步を描く」(R7.10.25)
 - ・ 講師: 富田 貴子氏 (株式会社CoCoDigi代表)
 - ・ 参加者: 19人(うちweb7人)



結果・実績

	目標・KPI	目標値	実績	達成率
事業目標	デジタルスキル習得等に向けて意欲・意識が向上した受講者の割合	50% (R8.3)	100% (R8.3)	200%

意欲や意識の向上は高い結果となり目標は達成できたが、受講後に行動へつながっているかについても注視したい。

